

市長と語る タウンミーティング

テーマ「選ばれるまち、住みやすいまちにするアクションは、今がその時!!」

日時 平成25年7月16日(火) 午後7時～8時35分

会場 産業文化センター

天気 晴れ

参加者 27人

主な意見等 (◆・・・参加者 ☆・・・市長)

◆働くお母さんは「病児保育」を求めている。NPO等で一部実施しているようだが、市が実施するとなれば全国にもないことだと思う。また、若い人が参加できるNPO等ができれば、若い人からも注目される。女性が産休を取ることは難しいが、ケーススタディとして実施しても面白いことができると思う。また、私はふじみん好きであるが、テレビにも出て欲しい。例えば、くまもんのおっかけを何とか何か面白い構想が考えられないか。

☆現在、完全な病児保育は実施できていないが、近い形としてファミリーサポートセンターで行っている。行政としての限界もあるので、民間とかNPO等で延ばしていければと思う。

また、ふじみんテレビ出演の件では、ふじみんのテーマソングができた。素晴らしいテーマソングなので応援いただきたい。

◆「選ばれるまち」について、ふじみ野駅周辺には、富士見市の観光看板が沢山あるが、ふじみ野市の弁天の森や徳性寺等の案内が全然出ていない。富士見市に対して放置自転車対策費用を支出しているのであれば、ふじみ野市をPRできるものを作成して設置できないか。ふじみ野駅の乗降客数はとても多いので是非PRして欲しい。

また、上福岡駅のココネ内にあるような出張所をふじみ野駅に作れないか。

☆富士見市の場所になるので、難しいかもしれませんがチャレンジしてみたい。

◆「住みやすいまち」について、公共施設適正配置計画の話の時も提案したが「ボール遊びのできる場所」がない。以前市からは遊水池を利用することはできないと回答があった。昨年行われた少年の主張の中でも、もっとボール遊びのできる場所を作って欲しいとの話があった。

周りに迷惑をかけないとか一定のルールは必要だが、ボール遊びができる場所を作るのは大人の責任ではないか。

☆まさにそのとおりだと思う。小学校には中学生は入れないとか、放課後は早く帰る指導をするなど学校側の問題もある。学校見学に行くと、熱心な先生が居て、子どもたちが授業を真剣に聞いている。子どもたちの場所の確保ということで支所の3階にミニ体育

館を作った。ボール遊びができる場所の確保は必要であると感じており、遊水池が使えるかどうかを含めて検討する。

◆大井本町に住む者だが、区画整理により道路整備がされた。しかし、通行量も増えている。他の地域では、通学時間の制限などがあるが、一方通行など交通事故対策を検討してみてもどうか。

☆市内には、狭い道路や見通しの悪い交差点など、子どもたちやお年寄りに危険な場所があるが信号機の設置はなかなか進まない。一方通行にしてしまうと車の速度が上がることもある。大井本町の辺りは、整備されたところ、曲がりくねった道などがあるので、担当と現地を見て検討したい。

◆ホームページが控え目で、県内1番のことなど色々な取組みについてもっとPRしてはどうか。

公開事業評価にしても分かりづらい。分かりやすく市民に情報を提供して、理解してもらうことによりスパイラルアップになるのではないか。

☆昨日の公開事業評価の中でも話があったが、PR不足だと反省している。今後はもっとPRをしなければいけないと思う。

◆市沢に住む者だが、街路樹の管理についてお聞きしたい。合併後は、虫が付くと街路樹が直ぐに切られてしまう。市の方針では緑の保全などがあると思うが、整備方針はどうなっているのか。維持費がかかるのは良く分かるし、地元と通る人の判断基準は違うのも分かる。ロードサポート制度等もあると思うがどのように考えているのか。

☆財源不足ではあるが、けやきを丸坊主にする剪定方法については、少し考えなくてはいけないと思う。市民による樹木の知識がある方で進めていくこともできる。ロードサポート制度では大井宿の会とか、舟運道の会とか市内各地にあるが、市道のロードサポート制度も検討したい。現在、樹木医が診断し、樹齢ではなく診断のもとに伐採している木もある。景観上も大事なので街路樹等の管理については、行政だけでなく市民に協力をいただきながら行っていきたい。

◆市民というのは0歳から100歳を超えている方までいると思うが、市長は何歳の年齢を重点に市のつくり方を考えたいか。我々にすれば30代40代が大変に思うので、その人たちが良ければ親も孫も幸せに感じると思う。

また、熱中症対策として、日中一人か二人でエアコンを使うと結構な電気代になる。例えば、暑い日に老人がシェアハウスで過ごすことは良いことだと思う。ふじみ野市で実施しているか分からないが、公民館とかで実施すれば集まる人はいると思う。

☆最初の質問ですが、私もまさに20代~40代の現役世代と思う。いわゆる子育てをしやすいい子どもたちの環境整備をしていきたいと思っている。また、働きながら仕事と両立

できるまちとして市長に就任する前から話していた。今、国では少子高齢化で社会保障が成り立たないと言っているが、制度を変えて行かないといけない。持続可能なまちとするために現役世代が暮らしやすいまちとしたい。現在人口は10万9千人を超え、転入者の内75%は30、40代の現役世代。今後も、若い人たちを増やしたい。その為には子育て環境が重要。現在のまちの動態をみると、3年半で政策効果が出てきていると思う。

次の質問の熱中症について、気温が35度を超えると高齢の方はつらいと思う。公共施設でクールオアシスを実施していた。公民館や分館等を開放することは、地元の運営委員や町会の方と話すなど皆で話し合いができる機会になり交流の場としても、今後、活かしていきたいと思う。

◆今、分館利用の意見があったが、カルチャー施設を増やしたり開催するなど、間が持てることをしてはどうか。

☆分館に来てもらうのであれば、興味を示していけるものをやるとか、支部社協ではサロンをやっているので、上手く組み合わせられるような催しをするのも有効な手段だと思う。施設を作るのは難しい。

◆タウンミーティングへは2回目の参加となる。私立幼稚園のPTAとして市長がどのような方なのか、市がどのような回答をしているのか勉強に来ている。保護者からよく出る話しとして、私立幼稚園に通わせている世帯に対する就園奨励費補助金の補助額を増やしていただきたい。公立の保育所は、職員数が多かったり市の支援があると思うが、私立の幼稚園が置いてけぼりではないか。ハード面でも支援があるとよい。

また、予防接種について、任意接種のおたふく等についても補助があるので保護者負担の面で助かっている。

☆私立幼稚園の就園奨励費については、ふじみ野市は若干少ないと認識している。色々と改革を進めて、無駄を削って、皆さんの要望に応じている中、合併して悪化したところなどについても、例えば職員数を削減するなど無駄を無くしてきている。市民の方にも、ごみの分別に協力をいただき年間2億円を浮かせているが、インフルエンザが流行すれば直ぐに2億円かかってしまう。子どもたちの環境整備には力を入れており、更に改革を進め就園奨励費まで届くよう頑張りたい。

市立保育園については、国の考え方でも公立を減らし民間にすることにより1人当たりの経費を下げ、幼保一元化、認定こども園など保育所も公立から民間への流れがある。市立が手厚いということではない。

予防接種については、2市1町の医師会で足並みをそろえて行っている。子育て中の方の負担軽減を図るため、2市1町足並みをそろえて補助金を出そうと考えている。

◆小・中学校のPTAにはお母さん方しか入れない。家庭と小中学校を結ぶネットワークが欲しいと思う。この地域はおやじの会がしっかりしていると思うが、私の住む地域で

もお父さんを巻き込んでやっていきたい。

☆学校に直接話をして大丈夫です。市内には学校応援団とかおやじの会がある。放課後子ども教室なども地域のボランティアで運営しているが、地域の方と一緒に学校、子どもたちを地域ぐるみで育て、応援していこうと考えている。
ありがたいお話しなので、教育委員会にも伝えます。